

利用者が増えています

例年2学期は、学校に行きづらさを感じる子どもが増える時期ですが、先生方の周りの子どもたちの中に気になるお子さんはいませんか？

さんむわくわく館は、ほっとできる場所を見つけたいと思っている子どもや自分の時間を有意義に過ごしたいと思っている子どもの居場所であると共に、先生方や保護者の方々が自由に相談できる場所です。

また、今月からオンラインによる遠隔学習支援が始まります。宿題支援としてばかりでなく、学校を休みがちなお子さんへのアウトリーチとしてもご利用いただけます。皆様のご利用をお待ちしております。

《 月ごとの利用状況 》

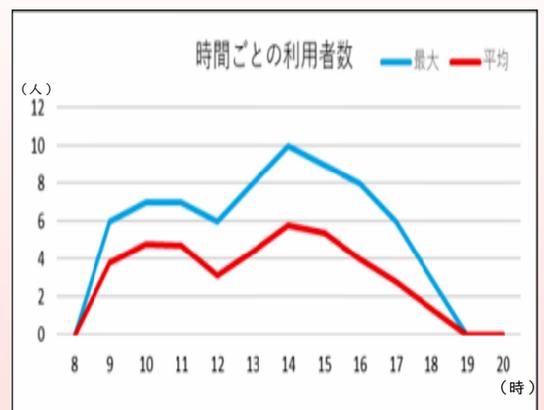


4月の利用者は、前年度末の91人と比較すると減少していますが、6月には前年度最高値の125人を越えています。

7月は、開館日数が少なかったため減少しています。

利用者は、小・中学生が中心ですが、乳幼児から中学校卒業まで、幅広い層の利用があります。

《 時間ごとの利用状況 》



開館から閉館まで、どの時間帯も利用されています。

このグラフだけでは読み取れませんが、昨年度と比較すると放課後の利用者が増えています。

学校の宿題に取り組んだり、興味のあることを深めたりと、誰もが“自らの学び”を意欲的に進めています。

活動のようす

テーブルサイズがちょっと小さめですが、卓球ができるようになっています。



最初は、スタッフと卓球をしている利用者が多かったのですが、最近では、利用者どうしで声を掛け合って、試合をしたり、ラリーを楽しんだりしています。

アップライトピアノが、いつでも弾けるようになっています。



生ピアノでの練習は楽しいようで、思いっきり弾いています。

弾き終えた後は、満足した笑顔で、ニコニコしています。

こんな活動もしています!!

《プログラミング講座》

夏休み中にプログラミング講習会を4回開催しました。(初心者コース3回、中級者コース1回)



プログラミング前から電子黒板に映し出されるロボットの制御プログラムの説明にのめり込み、作成したプログラムでロボットが動き出すと興奮は絶頂。もう誰も止められませんでした。

《オンライン無料塾》

今月から中学生を主な対象とするオンラインによる「無料塾」を開講します。

帰宅後一人で勉強している子どもや、何らかの課題を抱えて登校できないでいる子どもの学習を支援します。

昨年度の試行では、保護者の方から「子どもの見守りになって安心だった」という声をいただきました。

パソコンやスマートフォンがあれば誰でも参加できます。

プリント学習やテスト対策、受験勉強など広くお手伝いします。



《日本語学習交流会》

城西国際大学と山武市教育委員会共催の「外国人生徒のための交流」会場としてさんむわくわく館を提供しています。

さんむわくわく館

0475(53)5976

月・水・木曜日 9時～19時
祝日・年末年始・夏・冬季休業日を除く
山武市成東 2553-1 (浪切不動産協)

Supported by  日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

本館は日本財団の助成を受けて活動しています。

利用対象 0～18歳までの子どもとその保護者
(未就学児は保護者同伴)

利用料 無料 (事前に登録と予約が必要)